

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
【発行日】 令和 6 年 2 月 14 日 (2024.2.14)

【公開番号】 特開 2022-121172 (P2022-121172A)
【公開日】 令和 4 年 8 月 19 日 (2022.8.19)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-152
【出願番号】 特願 2021-18368 (P2021-18368)
【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)
G 0 3 G 21/00 (2006.01)
B 4 1 J 29/42 (2006.01)
B 4 1 J 29/38 (2006.01)
G 0 6 F 3/04817 (2022.01)

10

【F I】

H 0 4 N 1/00 3 5 0
G 0 3 G 21/00 3 8 0
G 0 3 G 21/00 3 8 6
B 4 1 J 29/42 F
B 4 1 J 29/38
G 0 6 F 3/04811 7 0

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 2 月 5 日 (2024.2.5)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の機能を有する情報処理装置であって、
画面に前記複数の機能のそれぞれを実行するための複数のソフトキーを表示する第一の表示制御手段と、
前記情報処理装置の状態に応じて前記複数のソフトキーを自動で並び替える並び替え手段と、を有し、

前記情報処理装置において視認に関するユニバーサル機能の少なくとも 1 つが有効に設定されている場合、前記第一の表示制御手段は、前記複数のソフトキーが並び替えられていない画面を表示し、前記並び替え手段による前記複数のソフトキーの並び替えが行われないよう制御する

40

ことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記複数のソフトキーが並び替えられていない画面は前記複数のソフトキーの並べ替えが行われていないデフォルト状態の画面である
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記視認に関するユニバーサル機能には前記画面に表示された内容を音声で読み上げる音声読み上げ機能が含まれる

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

50

前記視認に関するユニバーサル機能には前記画面に表示された前記複数のソフトキーのうち1つのソフトキーをカーソルで選択する機能が含まれる

ことを特徴とする請求項1から3のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記視認に関するユニバーサル機能の少なくとも1つを有効もしくは無効に設定可能な設定画面を表示する第二の表示制御手段と、

前記設定画面で受け付けた設定を記憶する記憶手段とをさらに有する

ことを特徴とする請求項1から4のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記並び替え手段は、前記複数のソフトキーのうち少なくとも1つのソフトキーの並び順が上位になるように表示を行う

ことを特徴とする請求項1から5のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記情報処理装置はスキャン機能又はプリント機能の少なくともいずれかを有する画像処理装置である

ことを特徴とする請求項1から6のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項8】

前記並び替え手段は、前記情報処理装置が有する原稿読み取り部に原稿が載置されたことを検知したに基づいて、前記複数のソフトキーの中で所定の条件を満たすソフトキーが優先的に表示されるように前記複数のソフトキーを並び替える

ことを特徴とする請求項1から7のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項9】

前記所定の条件を満たすソフトキーとは、前記原稿読み取り部を使用する機能に対応するソフトキーである

ことを特徴とする請求項8に記載の情報処理装置。

【請求項10】

前記並び替え手段は、前記情報処理装置が印刷ジョブを保存していることを検知したに基づいて、前記複数のソフトキーの中で所定の条件を満たすソフトキーが優先的に表示されるように前記複数のソフトキーを並び替える

ことを特徴とする請求項1から9のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項11】

前記所定の条件を満たすソフトキーとは、前記印刷ジョブを使用する機能に対応するソフトキーである

ことを特徴とする請求項10に記載の情報処理装置。

【請求項12】

複数の機能を有する情報処理装置が実行する制御方法であって、

画面に前記複数の機能のそれぞれを実行するための複数のソフトキーを表示する第一の表示制御工程と、を有し

前記情報処理装置の状態に応じて前記複数のソフトキーを自動で並び替える並び替え工程と、

前記情報処理装置において視認に関するユニバーサル機能の少なくとも1つが有効に設定されている場合、前記第一の表示制御工程では、前記複数のソフトキーが並び替えられていない画面を表示し、前記並び替え手段による前記複数のソフトキーの並び替えが行われないよう制御する

ことを特徴とする制御方法。

【請求項13】

請求項1から11のいずれか1項に記載の各手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

10

20

30

40

50

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

複数の機能を有する情報処理装置であって、画面に前記複数の機能のそれぞれを実行するための複数のソフトキーを表示する第一の表示制御手段と、前記情報処理装置の状態に応じて前記複数のソフトキーを自動で並び替える並び替え手段と、を有し、前記情報処理装置において視認に関するユニバーサル機能の少なくとも1つが有効に設定されている場合、前記第一の表示制御手段は、前記複数のソフトキーが並び替えられていない画面を表示し、前記並び替え手段による前記複数のソフトキーの並び替えが行われないよう制御することを特徴とする。

10

20

30

40

50